

[▶ ホーム](#)
**学会案内**
[▶ 概要](#)
[▶ 定款等](#)
[▶ 組織・役員](#)
[▶ 事務局・連絡先](#)
**市民の皆様へ**
[▶ 医療における放射線被曝](#)
[▶ 放射線科の紹介](#)
[▶ 放射線・原子力関連情報](#)
[▶ 放射線医学の歴史](#)
[▶ レントゲンの日](#)
**医学生・若手医師へ**
[▶ 若手医師・学生の皆様へ](#)
**第62回日本医学放射線学会総会案内(II)**

2006-6-2 10:13:48

会長 小西 淳二

第62回日本医学放射線学会総会を第62巻第5号の総会案内(I)にてお知らせしましたとおり下記の要領で開催いたします。

**記**

メインテーマ 放射線医学の新たな展開 ―生命科学の歩みとともに―  
 "Radiology: Translating Life Science into Patient Care"

**1. 期 日**

理事会、評議員会 平成15年4月10日(木曜日)

開会式、学術発表会 4月11日(金曜日)

総会、学術発表会 4月12日(土曜日)

学術発表会、閉会式 4月13日(日曜日)

**2. 会 場(学術発表)**

パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1

TEL 045-221-2121

**3. 学術発表**

一般演題の他に、合同特別講演、合同パネルディスカッション、特別講演、会長講演、教育講演、国際シンポジウム、シンポジウム、優秀論文賞講演、イメージインタープリテーション・セッション等を予定しています。また、一般演題の一部としてInternational session をもうけ、国内外からの応募を受け付けます。

**4. 発表形式**

口 演:発表時間7分、討論3分の予定です。PCでの発表も可能です。

展 示:写真、図表が主体となる発表はポスターによる展示発表をお勧めします。ポスターは英語で作成し、討論は日本語も可といたします。

CyberRad発表:電子情報機器を用いた発表。(RSNAのinfoRADに相当)

International session:英語での口演発表および討論、あるいは展示といたします。

**5. 演題応募について**

今回は郵送による演題申し込みは受け付けず、ホームページを用いたオンライン登録に限定します。

アドレス:<http://square.umin.ac.jp.jrs2003>

受付開始:平成14年8月1日(木曜日)

演題応募締切日:平成14年10月16日(水曜日)正午

1)推奨環境は、Internet Explorer 4.0以上、Netscape Navigator 4.01以上です。古いバージョンのブラウザをお使いの場合やファイアウォールの使用、登録プログラムとの相性などにより正常に演題登録できないことがありますので、練習画面で試験しお早めに登録できる環境か否か確認して下さい。

2)練習画面に登録した演題は、本登録とはなりません。必ず本登録を行なって下さい。

**▶ 入会案内**
**▶ 会員のみなさまへ**
[▶ What's New](#)
[▶ 会員向けの情報](#)
[▶ 学会からの情報・ガイドライン](#)
[▶ 安全に関する情報](#)
[▶ 会報・会告](#)
[▶ 学会誌・出版物](#)
[▶ 学術大会\(春・秋\)](#)
[▶ 地方会案内](#)
[▶ 国際交流](#)
[▶ 関連学会集会](#)
[▶ 利益相反](#)
[▶ 専門医制度](#)
[▶ 医学物理士制度](#)
[▶ リンク集](#)
[▶ 電子放射線診療用語集](#)
**会員専用ページへ**


閲覧には会員番号と  
パスワードが  
必要です



日本語

- 3)パスワードと登録番号は控えておいて下さい。後で確認、修正の際に必要となります。
- 4)演題登録には練習用ボタンと本番ボタンがあります。正式登録は必ず本番用で行なって下さい。
- 5)発表者は平成14年10月16日現在の正会員に限ります。入会手続きは、同日までに必ず完了しておいて下さい。ただし、外国人留学生はこの限りではありません。
- 6)会員番号の記入が無い場合は非会員とみなします。
- 7)非会員連名発表者は1人1演題につき4,000円です。本誌綴じ込みの非会員連名発表者専用振替用紙で振り込んでください
- 8)演題受領通知は、演題応募登録時、修正時、その都度にE-mailでお知らせいたします。したがって演題応募にはE-mailアドレスが必要です。受領mailが届かない場合はメディカルトリビューン社にお問い合わせ下さい。
- 9)演題の採否、発表形式、区分の決定は、プログラム委員を経て会長に一任させていただきます。決定の通知は、平成14年12月下旬までにハガキにて行なう予定です。
- 10)その他の詳細はホームページ上の注意事項をご覧ください。

#### 6. 抄録作成要項

ホームページ上のオンライン登録方法に従って、記入もれがないように入力してください。

##### 発表形式(I)

1. 一般口演(スライド) 2. 一般口演(PC) 3. ポスター展示 4. サイバーラド
5. International session

##### 発表区分(II)

10. 診断一般 20. 治療一般 30. in vivo一般 40. TAE 50. 物理
11. 単純X線(含治療計画) 31. RI治療 41. PTA 51. 生物
12. 超音波 21. 小線源 32. 放射性医薬品 42. 血栓溶解 52. 造影剤
13. MRI 22. 温熱療法 33. 機器・データ処理 43. 動注療法 53. 被曝、防護
14. CT 23. 粒子線 34. in vitro 44. 非血管 54. 装置、技術
15. 血管造影 24. 薬剤 35. その他 45. 器具 55. 画像情報
16. その他 25. 定位放射線照射 46. 生検 56. その他 26. その他
47. スtent
48. その他

##### 発表区分(III)

- A. 脳脊髄 B. 頭頸部 C. 乳腺、内分泌 D. 呼吸器(縦隔含む)  
E. 心大血管 F. 肝、脾 G. 膵胆道 H. 消化管  
I. 泌尿器(後腹膜腔含む) J. 生殖器 K. 骨軟部(脊椎含む) L. 末梢血管、リンパ管  
M. 小児 N. 救急 O. PACS関連 P. その他

\*発表者は10人以内として下さい。

\*抄録は、目的、方法、結果、結論等に分けて書き、文中に発表者や施設は入れないで下さい。

\*演題名、所属、氏名を合わせて抄録全体の字数は最大800字です。この字数を超えると登録できません。

\*原則として、JIS第1、第2水準に対応していない文字は使用できません。

#### 7. International sessionについて

International session への応募は、会員用演題登録画面から「International session」を選んでください。発表及び討論は英語とします。抄録は英語で作成してください。

演題名、所属、氏名を合わせて抄録全体の字数は最大400 words までです。

上記の抄録作成要項にある「発表区分」は使用せず、以下のテーマに合致する内容での発表を要望します。奮ってご応募ください。

1. Advance in neuroimaging
2. Advance in chest imaging
3. Advance in hepatobiliary imaging
4. Advance in vascular imaging
5. Advance in genitourinary imaging
6. Advance in musculoskeletal imaging
7. Advance in interventional therapies
8. Advance of SPECT and PET in oncology
9. Advance in radiation oncology

#### 8. 参加登録費等

\* 事前参加登録の締切は平成15年2月28日で、参加登録費は10,000円です。期日までに本誌綴じ込みの事前参加登録費専用振替用紙にて送金して下さい(非会員連名発表費の振込先とは異なりますのでご注意ください)。平成15年3月下旬にネームカードをお送りします。ネームカード送付先は学会誌送付先と同じです。ネームカードが無いと入場できませんので、学会当日には必ずご持参下さい。

\* 事前参加登録費の返却は、ネームカード発送前に限り、手続き料を差し引いて応じます。ネームカードの発送後の返却はいたしませんのでご了承下さい。

\* 当日の参加登録費は12,000円となります。

\* 非会員連名発表者は1人1演題につき4,000円です。本誌綴じ込みの非会員連名発表者専用振替用紙で振り込んでください(事前参加登録費の振込先とは異なりますのでご注意下さい)。

\* 不採択の場合は、非会員連名発表費は返却します。

#### 9. PCでの発表について

PCプレゼンテーション希望の方は、以下の要領を熟知ください。

##### 1) パソコンのお持込について

1. PCプレゼンテーションについては、ご自身でノートパソコンを持ち込んでの発表に限ります。

2. パソコンにトラブルのあった場合に備えて、バックアップとしてスライドをご用意ください。バックアップを持参されなかったために発表が不可能となっても実行委員会は責任をとれません。

3. 発表機種はApple Power MacintoshかWindows95以上が動作するPC98もしくはDOS/V機をご使用ください。

4. 発表中またはその準備中にバッテリー切れとなることがあります。会場にはコンセント口を用意しておりますので、コンセント用電源アダプタを持参ください。

5. 一部の薄型ノートパソコンで、モニタ出力端子がDsub-15ピン(正式名称:HD(3WAY)15pin)でないものがあります。この端子がないものは本体のみではプロジェクタにつなぐことができません。別売りのアダプタが必要となりますので必ずご用意ください。

##### 2) 発表手順について

1. 発表の30分前までにスライドセンターにて出力をチェックしてください。スライドセンターにはオペレータが待機しております。

2. スライドセンターにてチェックのうえ、セッションの始まる15分前には会場へパソコンをお持ちください。会場には次演者席付近に係員が待機しておりますので、プロジェクタへの接続をお申し出ください。

3. プロジェクタへの接続は係員が行ないますが、発表時の操作はご自身で行ってください。

### 3) その他

1. ノートパソコンの一部機種でパソコンのモニタ出力端子より出力する解像度がVGA(640×480)に限定されている機種があります。その解像度以上のサイズでスライドを作成しますとノートパソコンの画面では正しく表示されていてもプロジェクタで投射した場合にレイアウトがくずれてしまう恐れがありますので、出力できる解像度を確認してからスライドの作成をされることをお勧めします。

2. スライドショーでは、誤って最後まで進んで終了してしまうと、最初からやりなおさなければなりません。最後のスライドの後に1枚ダミースライドを作っておかれることをお勧めします。

3. 発表中にスクリーンセーバや省電力機能で電源が切れてしまわないよう、設定の確認をお勧めします。

4. 上記の映写トラブルによる時間延長は認めません。自身の発表時間内にすべてが終了するよう対処(設定変更・スライドへの切り替え等)してください。また、パソコンの設定等取り扱いを熟知しておいてください。

### 10. その他

交通、ホテル等のご案内は本誌62巻12号(10月号)に掲載予定です。

### 11. 問い合わせ先

\* 演題登録に関するお問い合わせ先:

〒102-0084 東京都千代田区二番町2-1

株式会社メディカルトリビューン

学術誌出版部

第62回日本医学放射線学会総会担当係

E-mail:[jrs2003@nv-med.com](mailto:jrs2003@nv-med.com)

\* 演題審査関係:

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学大学院医学研究科放射線医学講座(核医学・画像診断学)

第62回日本医学放射線学会総会準備委員会事務局

TEL:075-751-3760 FAX:075-771-9709

E-mail:[jrs2003@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:jrs2003@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

\* 参加登録費等:

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-5-2

TKビル2F(JRC)

第62回日本医学放射線学会総会事務局

TEL:03-3251-9191 FAX:03-3251-9195

E-mail:[jrc@asahi.email.ne.jp](mailto:jrc@asahi.email.ne.jp)

## JRC2003 CyberRad展示発表演題募集

第62回日本医学放射線学会 会長 小西 淳二

JRC CyberRad委員会 委員長 石垣 武男

CyberRadは、日本医学放射線学会、日本放射線技術学会、日本画像医療システム工業会の3者がJRCの会期中に合同で行う学術展示です。構成は、一般演題、テーマ展示、チュートリアル、その他からなり、プログラム、抄録等は、各々の学会の抄録集に掲載されます。

平成15年4月に横浜で開催されますJRC2003におきましても、昨年と同様に、IT時代のテーマ展示として「E-Hospital(2003)ーバーリアフリーな部門

間情報の連携——」を掲げました。また、従来と同様、電子機器類を用いた展示発表を広く会員から一般公募することにしております。発表テーマは自由ですが、発表方法はワークステーションあるいはパソコンを用いてディスプレイ上で行います。コンピュータ支援診断システム(CAD)や3D動画像などリアルタイムに展開されます内容の発表に最適かと考えます。展示期間、形式等は未定ですがJRC2003の開催期間中に同一会場内で行います。発表希望者は、各自でコンピュータ等を準備していただき、指定の期日までに会場に搬送し、発表期間中、デモを行っていただきます。JRCでは装置の搬送にかかる費用については、一部負担いたします(希望者のみ、ただし予算の範囲内)。

演題募集は、第62回日本医学放射線学会学術発表会および第59回日本放射線技術学会学術大会の演題申込と同様に行います。いずれの学会にも加盟しておられない方も、できればどちらかの学会から演題申込してください。応募の締切は、11月1日(金曜日)です。審査はJRC CyberRad 委員会で独自に行います。応募者多数の場合は希望に添えかねることもございますのでご了承ください。

この演題申込につき、日本医学放射線学会、日本放射線技術学会、日本画像医療システム工業会いずれかの会員であれば会員扱いとなりますが、非会員の方はJRC事務局にお問い合わせください。多数ご応募いただきますようお願い申し上げます。

JRC事務局

電話:03-3251-9191 FAX:03-3251-9195

---

[このページのトップへ戻る](#) ↑